Regional Banking Summit

（令和４年２月11日（金））

皆様、こんにちは。金融担当大臣の鈴木俊一です。登壇者の皆様、視聴者の皆様、Regional Banking Summitにご参加・ご視聴いただきまして誠にありがとうございます。また、地域の中小企業の皆様におかれましては、感染拡大防止に努めながら日夜ご努力されていること、また、地域金融機関の皆様におかれましては、事業者の方々への支援に邁進いただいていることに心より感謝申し上げます。開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今後、新型コロナウイルスの影響により大きく傷ついた日本経済を立て直すには、事業者の方々の資金繰り支援はもとより、経営改善・事業再生・事業転換支援等の重要性が更に高まっています。

政府では、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトに、昨年11月に「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定しました。事業者等の支援を含め、国民が豊かに生活できる新しい資本主義の実現に全力を挙げております。経済対策では、中小企業等の足腰の強化と事業環境整備に向けて、中小企業等事業再構築促進事業を始めとして、様々な支援施策を講じました。

金融機関の皆様におかれましては、今回の経済対策に掲げられた政府の支援メニューも有効にご活用いただき、厳しい経営環境にある事業者の方々の支援に万全を期していただきたいと思います。

昨今、地域金融機関には、事業者支援において、「金融」の仲介にとどまらず、ニーズにマッチした他の事業者や人材の仲介、さらには情報の

仲介といった機能を発揮することが期待されております。このため金融庁では、地域金融機関が、取引先事業者に対し提供できるサービスの幅・選択肢を広げられるような環境整備を進めてきました。昨年も、銀行業の経営資源を活用した、デジタル化や地方創生などに資する業務の追加や、出資を通じたハンズオン支援の拡充といった環境整備を図っております。

このたび開催する「Regional Banking Summit」では、「カネ」だけでなく、「ヒト」や「情報」といった様々な角度から、事業者を支援し、地域の産業・経済を支えるための、地域金融機関の創意工夫を後押しすることを目指しています。今年も昨年と同様、多様な経歴を持つ幅広い分野の有識者の方々と、様々な地域金融機関の様々な立場の役職員の方々にお集まりいただいております。

皆様方の地域経済・産業、金融機関にまつわる多様なテーマに関するディスカッションを通じて、参加者・視聴者お一人おひとりが、地域の事業者・産業の支援をより有効に行うための金融機関の業務運営や、地域の経済・産業の転換に向けて地域金融機関が果たしていくことができる役割、地域金融機関の持続可能なビジネスモデルのあり方といった問題について、考えをめぐらしていただける良い機会にしていただけるものと考えております。

最後になりますが、この度はお忙しい中、ご協力・ご参加いただきました全ての登壇者の皆様、また、本日の会を共催いただくにあたり、多方面にわたりご尽力いただきました日本経済新聞社及び関係機関の方々に改めて御礼を申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。